

COPD(慢性閉塞性肺疾患)



COPDという病名を聞いたことはありますか？

この病気は気管支に炎症が起こり肺胞が破壊され呼吸がスムーズに出来なくなる肺の病気です。

この病気の主な原因は何かわかりますか？



原因の9割はこのたばこと言われています。残りは大気汚染などです。

喫煙者はもちろん家庭や職場で長年副流煙を吸い続けていても発症しやすくなります。

どのくらいのたばこを吸っているとリスクが高まるのかを知る一つの目安として

喫煙指数があります。

1日に吸うたばこの本数×喫煙年数です。これが高ければ高いほど発症のリスクは高いと言えます。

700以上になった人はCOPDだけではなく肺がん、咽頭がんのリスクも高くなると言えます。

また、この病気は男性より女性の方が重症化しやすいです。

この病気かを調べるには呼吸機能を見るスパイロメーター検査で調べます。

40歳以上の人は発症がしやすくなるため定期的に検査をしていきましょう。

COPDの代表的な症状は息切れです。階段の上り下り、坂道を登った時に息切れがします。

そのまま放っておくとさらに呼吸のたびにゼーゼー、ヒューヒュー喘鳴がおきます。

また慢性的に咳や痰などが出るのも特徴です。

中高年を過ぎると息切れの症状がみられても年のせいだと軽く見られがちですが喫煙歴のある人はCOPDの疑いがあるので早めの受診をしましょう。

病状が進むと日常生活に支障をきたします。この病気は完治することはありません。

薬で症状を和らげたり呼吸のリハビリで進行を遅らせる治療を行います。

呼吸不全、心不全を起こしやすくなることから酸素ボンベを移動には必要になってきます。

肺炎、インフルエンザにもかかりやすく心・血管疾患、糖尿病、骨粗しょう症などを合併しやすくなりますから早期発見が求められます。